

2008 年度

科目名 比較文学	対象学科・学年 教育教福2回生	担当者 林 進
授業テーマ 日本と西欧の近・現代文学の比較		
授業の概要と目標 三島由紀夫、トーマス・マン、谷崎潤一郎、川端康成、森鷗外、カフカ等、東西の近・現代作家の文学作品をテーマ別に比較しながら、あるいは文学と他の芸術・学問分野とを比較検討しながら、現代社会における文学の意味と機能を考える。映画ビデオ等も適宜活用しながら解説する。		
評価方法 レポート提出。出席重視		
テキスト 『三島由紀夫とトーマス・マン』	著者 林 進	出版社 鳥影社
参考書 授業の中で指示	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 比較文学入門 2. 仮面の文学——三島由紀夫とトーマス・マン 3. 小説と叙事詩（1）小説の理論——三島由紀夫『潮騒』とトーマス・マン『トニオ・クレイガー』（1） 4. 小説と叙事詩（2）古典主義美学と近代の分裂——三島『潮騒』とマン『トニオ・クレイガー』（2） 5. 愛の不能（不感症）あるいは不可能——三島由紀夫『愛の渇き』『音楽』と精神分析学 6. 愛の悲劇（オイディプス的インセスト）——ソフォクレス『オイディプス王』と三島由紀夫『熱帯樹』 7. 学生起業家とヤミ金融——光クラブ事件と三島由紀夫『青の時代』 8. 超人へのレッスン（1）——スター・三島由紀夫の『からっ風野郎』 9. 超人へのレッスン（2）——美輪明宏と三島由紀夫と『黒蜥蜴』 10. デカダンス美学とルサンチマン美学（1）——マン『ヴェニスに死す』と三島由紀夫『金閣寺』（1） 11. デカダンス美学とルサンチマン美学（2）——マン『ヴェニスに死す』と三島由紀夫『金閣寺』（2） 12. 表層のエロス（1）皮膚と筋肉——谷崎潤一郎と三島由紀夫 13. 表層のエロス（2）サド・マゾヒズム——谷崎純一郎『刺青』『痴人の愛』 14. 大都会の顔と孤独と不安——リルケ『マルテの手記』とムンク『叫び』 15. レポート提出 16. エロティシズム（1）絶対的タブーの侵犯——三島由紀夫『春の雪』（1） 17. エロティシズム（2）愛の死——三島由紀夫『春の雪』（2） 18. 病気と文学（1）——マン『魔の山』と堀辰雄『風立ちぬ』（1） 19. 病気と文学（2）——マン『魔の山』と堀辰雄『風立ちぬ』（2） 20. 近代日本とドイツ（1）国家と家と個人——森鷗外『舞姫』（1） 21. 近代日本とドイツ（2）エリート留学生の挫折——森鷗外『舞姫』（2） 22. 武士道（1）——三島由紀夫『剣』（1） 23. 武士道（2）——三島由紀夫『剣』（2） 24. テロリズム（1）孤独の侵犯——カフカ『審判』と安部公房『友達』 25. テロリズム（2）暗殺——三島由紀夫『奔馬』『鹿鳴館』（1） 26. テロリズム（3）暗殺と切腹——三島由紀夫『奔馬』『鹿鳴館』（2） 27. 変身とシュールレアリスム——カフカ『変身』と安部公房『赤い繭』とダリ『記憶の固執』 28. 発狂と自刃——ニーチェと三島由紀夫 29. 二つの死——川端康成と三島由紀夫 30. レポート提出		